

専徳寺報

第491号

令和7年11月1日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

岩国 専徳寺

検索

永代経法要

御案内

今年最期の法座です。ご一緒に仏法
聴聞いたしましょう。今年、年回忌が
あったお家は、どうぞお参りください。

日程

11月18日(火) 昼1時半〜3時半
19日(水) 朝10時〜正午

ご講師

本願寺派布教使

安方 哲爾 師

(大阪府貝塚市 正満寺前住職)

YouTube



送迎します

●参拝セット (念珠・聖典・式章・聴聞カード)

(本願寺鹿兒島別院チャンネル。この度のご講師の10分法話を
聞くことができます)

法座の後に送迎いたします。ご参拝お待ちしています。
(無理のない乗り合い参詣も推奨しています。)

如來・人・言葉

142

しょうじょうじゅ
正定聚の位に住せしめん

—VIP(最高の席)—

高松 秀峰



東京2020パラリンピックの閉会式で演奏された、ピアノ
ストの西川悟平さん。西川さんがニューヨークに住んでおられ
たときのエピソードです。

西川さんのアパートは、古いながら玄関が二重のオートロッ
クになっていたので、鍵をかけていませんでした。

ある晩、ガチャガチャと玄関が開く音がしました。恐る恐る
行ってみると、突然二人組の男たちが押し入ってきたのです。

ひとりは大きな黒人の男、もうひとりはラテン系の痩せた男。
黒人のほうが透明な液体の入った注射器を西川さんに突きつけ、

ラテン系の男が部屋を物色し始めました。

恐怖で震えていた西川さんですが、そのうち「どういう幼少
期を過ごしたら、泥棒をする人になるのだろう」という好奇心
が勝り、「どんな子供時代だったんですか?」と尋ねました。

ラテン系の男の手が止まり、「お前にあの痛みがわかるか!

俺は四歳の頃から父に虐待を受け、麻薬中毒の母も俺を捨てた。

それ以来ずっと一人で生きてきたんだ。」と言われた瞬間に、西
川さんは涙が止まらなくなったそうです。

涙ながらに西川さんは「うちには、大したものはないけど何
でも盗っていいよ」と言いました。そうこうしているうちに、
打ち解けた泥棒たちと八時間も話し込んだそうです。

その明け方、泥棒の一人が壁のポスターに気づき興奮して言
いました。

「おまえ、カーネギーホール(小ホール)で弾いたのか? すげ
えな! 俺はコンサートに一度も行ったことがないんだ……。」

その悲しそうな返事に胸がしめつけられるような思いがした
西川さんは、今ここで、泥棒二人のためにリサイクルをしてあ
げなければいけないと思ったそうです。泥棒たちは西川さんの

演奏に感動してリクエストがとまりません。そして涙ながらに「自分のためにピアノを弾いてくれたのは人生で初めてだった」と、盗もうとしたものをすべて返したそうです。

別れ際に西川さんは、「今日あったことは絶対警察にいわない。そのかわり何かできることがあるはずだから仕事についてほしい。もし自分が、カーネギーホールの大ホールで弾ける日がきたら、VIP席を用意する」と約束し、黒人の泥棒と携帯の番号を交換しました。

この日から一年後、カーネギーホールの大ホールの演奏が決定しました。西川さんが主催者と相談した所、女王や大統領が座るど真ん中のボックスシートが用意されました。泥棒二人はスーツを着てVIP席に来てくれたそうです。

西川さんは、コンサートに一度も行ったことのない泥棒を悲しみ、最高のホールで演奏することになった晩には、最高の席を用意する約束をし、それが実現しました。



普通、VIP席に座ることは、その席にふさわしい人間にならなければ叶いません。ただし、コンサートに一度も行ったことのないものでも、最

も良い席についてもらいたいという主催者の願いが実現するなら、それは可能となるのです。

「この真実の称名と真実の信樂をえたる人は、すなはち正定聚の位に住せしめんと誓ひたまへるなり。」(『三経往生文類』註釈版六二八頁)

阿弥陀如来は他力のお念仏のこころをいただいていくものは、正定聚の位につかせるとお誓いになられました。正定聚とは、仏のさとりの一つ前の位で、弥勒菩薩と同じ必ず仏となりさとりをひらく最高の位です。

自力の仏道の弥勒菩薩は、豎の金剛心で長い時間を修行して、その身にふさわしい正定聚の位につかれました。

それに対し、阿弥陀仏はさとりをいたることのできないこの私を、さとらせたいと本願をお建てになりました。信じさせ、念仏申させ、正定聚につかせ、必ずさとらせたいという願いが完成されたすがたが南無阿弥陀仏です。そのおこころをいただいていくからこそ、どのようなものでも正定聚の位に定まることを親鸞聖人はよこされました。

(たかまつ しゅうほう

広島仏教学院長)
(『宝章』49より)

寺内だより

●み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕



●ご恩を偲び〔法事勤修〕9月9日・10月26日

●ご報告します

▼秋讃仏会法要余香 9月26・27日

【ご講師】水杉悟史師、【お鉢米】木村勲様

第11回 秋の展示会

【出展者】上岡喜世美(書)、上野克枝(シャドーボックス)、金田外美(木目込み人形)、河本多喜子(書・木目込み人形)、下村和夫(大和)、末廣皓子(書)、通谷尚子(手芸)、土井智恵子(プレストフラワー)、弘中恭子(書)、藤本真由美(シャドーボックス)、村岡房江(手芸)、村中恵子(油絵)(以上12名)



●ご案内します ―専徳寺倶楽部―

▼境内清掃作業

【日時】12月20日(土) 15時半～17時

◎ご参加希望の方は、お寺へご一報をお願いいたします(☎:0827-138-1124)。